

100歳おめでとごぞいます



▲中央が高野久次郎さん。
長寿の秘訣は運動することだそうです

二人の賀寿贈呈では、内閣総理大臣から祝状と記念品の銀杯、福島県から知事賀寿と会津漆器の木杯、村から祝金と記念樹、村社会福祉協議会から祝状、村老人クラブ連合会などから記念品などが贈られました。

また、松田さんには玄孫の松田華凛ちゃんから、高野さんには家族の高野彌生さんから花束が贈られると、二人とも満面の笑顔を見せました。



▲中央が松田マチノさん。
長寿の秘訣はよく笑うことだそうです

9月25日に満百歳を迎えた松田マチノさん(深谷)に、避難先の借上げアパートで賀寿贈呈が行われました。

9月27日には、同じく満百歳を迎えた高野久次郎さん(関沢)の賀寿贈呈が入所している介護老人保健施設「聖・オリーブの郷」で行われました。

松田マチノさん、高野久次郎さんに賀寿のお祝い

ほけんとふくしのページ

9/16

長寿を祝う「飯館村敬老会」

いつまでもお元気で



▲敬老会のようす



▲謝辞を述べる赤石澤さん



▲祝い金を受け取る菅野榮子さん

「飯館村敬老会」が、今年も福島市飯野小学校体育館を会場に開催され、今年度の対象者1139人(75歳以上)のうち、約320人のお年寄りが出席しました。

敬老会では、はじめに出席者を代表して菅野榮子さん(佐須)に村長から敬老祝い金が手渡されたの続き、福島民報社と福島県老人クラブ連合会から、16組の金婚夫婦



▲発表後の園児と触れ合う参加者

「除染や補償、健康管理などさまざまな課題がありますが、健康に留意し、

9/5 「ご近所パワー」が地域を守る！「高齢者を支え合う仮設住宅の仕組みづくり講演会」開催



▲熱心に木原さんの話を聞く参加者

住民流福祉総合研究所(埼玉県)の木原孝久所長を招き、「高齢者を支え合う仮設住宅の仕組みづくり講演会」を福島市飯野学習センターで行いました。この講演会は、民生児童委員と仮設住宅や公的宿舎等の自治会長・管理人などを対象に、高齢者や一人暮らし世帯などを地域で見守るための方法を考えるために、村・村社会福祉協議会・民生児童委員協議会の共催で行われたものです。

講演会では、「支え合いマップ」を作ることで住民が普段助け合っている人を明らかにし、助け合っている人を通じて全体のようなことを確認されました。参加者からは「今まで公的サービスが入れば十分だと思っていたが、共助(地域等での支え合い)で対応できるといい」「支え合いマップ作りをぜひ取り入れてみたい」という声が聞かれました。



▲支え合いマップ作りのようす(明治小仮設住宅)

支え合いマップ
住民が住宅地図に要援護者やそれを助ける支援者を書き込み、地域福祉を共有するもの



▲運動教室のようす(いやしの宿いたて)

「までい健幸運動教室」の開催について、各仮設住宅集会所や「いやしの宿いたて」で運動教室を開催しています。避難生活が長引く中で、体重増加・体力の衰え・足腰が弱くなったという声を耳にします。こういった状況が長く続くと、脳梗塞や心筋梗塞といった大きな病気にかかる確率が高くなってきます。

仮設住宅にお住まいの方は、集会所等で、借り上げ住宅や公営宿舎にお住まいの方は、「いやしの宿いたて」で、運動の専門家がその人に合った運動を指導しています。継続参加の方には、データが蓄積される歩数計を配布しています。

この事業は、来年の3月まで実施します。

「までい健幸運動教室」のお知らせ



松林律子さん(伊丹沢)
毎日歩数計をつけて散歩しています。毎週参加するのが楽しみです。



高橋シゲ子さん(比曾)
運動することで、肩こりなどが良くなるといいなと思っています。

○お問い合わせ 健康福祉課健康係 ☎024-562-4224